

## 印西大師 第49番 山田・円天寺

1 名称 (No.049)〔手引鏡：円天寺〕〔資料館：円天寺〕〔行程表：円天寺〕

2 場所 印西市山田878-1 圓天寺

(仮称)山田大師堂から道程約350m

GPS座標 35.774983711944365, 140.2402790680564

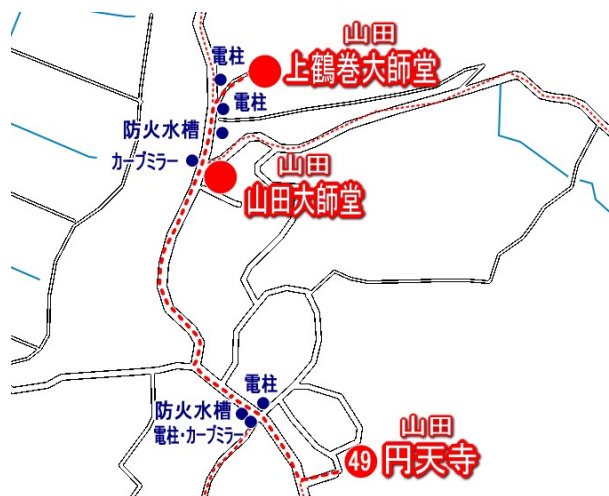
3 由緒 浄土宗 龍雲山 寒風院 圓天寺

山田村字門前台にあり 浄土宗鎮西派にして龍雲山と号し西京知恩院末なり 元亀三壬申年(1572年)五月開山 九五存把和尚創立なり 存把は甲州武田氏の一族にして信重の曾孫なりと云ふ 檀徒233人(印旛郡誌)

4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が1体あり。

5 境内 山門・本堂・鐘楼などがある。

6 写真 (2023.01撮影)



大師堂



御大師様



大師堂



大師堂



御大師様



大師堂の前の道路

## 7 情報

(1) 印西大師 第49番 圓天寺 御詠歌 (泉倉寺本による)

十悪の我身を捨(棄)てず其(その)ままに 浄土の寺へ詣りこそすれ

四国八十八ヶ所 第49番 真言宗豊山派 西林山(さいりんざん) 三蔵院 浄土寺(じょうどじ) 写し

(2) 円天寺

山田区ノ東方字門前台ニアリ 浄土宗ニシテ竜雲山ト号ス、西京知恩院ノ末派ナリ、元亀三壬申年(1572年)九五存把ノ開基創建スルトコロナリ、存把ハ甲州武田氏ノ一族にニシテ信重ノ曾孫ナリト云フ (六合村郷土誌)

### (3) 浄土宗 龍雲山 圓天寺（寒風院） 千葉組 64

当山は、元龜3年（1572）存把上人によって創立、下総国印旛郡山田村字寒風に建立されたと記録されている。後、享保13年（1728）に現在地に移されている。これは九世見譽上人の代と思われる。文政七年（1824）に火災に遭い、鐘楼を残すだけで他の建造物は全焼した。十八世仁譽上人の代の文政10年前に再建され、以降改築増築を経て今日に至っている。

開山存把上人は、天文4年（1535）相模国に生まれ、9歳の時、生実大巖寺の道譽貞把上人の門に入り、出家・教学の探求に努める。後、京都に上り、天台・真言の教意をも探求されて、再び関東に帰られた。帰られて最初に開かれたのが当山である。その後、現茨城県の飯沼弘経寺（檀林・現水海道市）の九世となる。だが、天正年間に多賀谷氏と北条氏の戦いで、飯沼弘経寺は火災に遭い、存把上人は結城にのがれ、その地の結城秀康の厚い帰依を受け、文禄4年（1595）飯沼弘経寺と同名の弘経寺を結城に開かれた。晩年、慶長9年（1604）に檀林・瓜連常福寺の十三世となったが、その年70歳で入滅された。

当山の開基は武田氏と伝えられるが、詳細は不明である。ただし現在も寺紋として武田菱が使われている点を考えると、記録は残されていないが、何等かの関係を示すものではないかと思われる。（浄土宗千葉教区HPより）

## 8 Web

○浄土宗千葉教区の円天寺ホームページ

[https://www.jodo-chiba.jp/contents/syokai/4064\\_entenji.htm](https://www.jodo-chiba.jp/contents/syokai/4064_entenji.htm)